

E. coli由来のL-マレート脱水素酵素、組換え

Cat. No. NATE-1107

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 マレート脱水素酵素は、クエン酸回路における酵素で、マレートをオキサロ酢酸に還元する反応を触媒します（NAD⁺を使用）し、逆もまた然り（これは可逆反応です）。マレート脱水素酵素は、マレートをピルビン酸に還元し、NADPHを生成するマレート酵素と混同しないください。マレート脱水素酵素は、グルコネオジェネシス、すなわち小さな分子からグルコースを合成する過程にも関与しています。

別名 リンゴ酸脱水素酵素; L-リンゴ酸脱水素酵素; NAD-L-リンゴ酸脱水素酵素; リンゴ酸脱水素酵素; NAD依存性リンゴ酸脱水素酵素; NAD-リンゴ酸脱水素酵素; NAD-リンゴ酸脱水素酵素; リンゴ酸NAD脱水素酵素; NAD依存性リンゴ酸脱水素酵素; NAD-sp; EC特異的リンゴ酸脱水素酵素; NAD結合リンゴ酸脱水素酵素; MDH; L-リンゴ酸-NAD⁺ 酸化還元酵素; S-リンゴ酸: NAD⁺ 酸化還元酵素; EC 1.1.1.37; リンゴ酸脱水素酵素

製品情報

由来	E. coli
形態	液体
EC番号	EC 1.1.1.37
CAS登録番号	9001-64-3
分子量	~ 34kD
活性	~ 1,500 U/mg タンパク質
単位定義	1ユニットは、pH 7.5および25°Cの条件下で、リン酸ナトリウムバッファー中のオキサロ酢酸の存在下でNADHから1μmoleのNAD ⁺ を生成するために必要な酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法 4°C